

フオーラム

がんと生きる

～こころとからだ 私らしく～

2人に1人がかかるといわれる“がん”。

医学の進歩で治療の効果があがる一方で、抗がん剤などの副作用に悩まされ、

暮らしや治療そのものに支障をきたす人も少なくありません。

今そこに、新たな医療の手立てがでてきました。治療の副作用を軽減する“支持療法”や、

心や体の痛みに寄り添う“緩和ケア”の効果が期待されています。

たとえ、がんと診断されても自分らしく生きられる時代。

がんとともに生きる当事者や医療者らが最新の医療・ケアについて語り合います。

参加者募集中

日時：2018年 **7月1日** (日)

開場：午後0時30分 開演：午後1時 終演：午後3時30分 (予定)

※ 途中休憩あり

会場：岐阜市民会館 **大ホール**

住所：岐阜県岐阜市美江寺町2-6

定員：500人 **入場無料** 事前の申し込みが必要です。
申し込み方法は裏面をご覧ください。

がん相談コーナーもあります。お気軽にお立ち寄りください。

交通

●岐阜バス「市民会館前」「市民会館・裁判所前」下車すぐ

※公共交通機関をご利用ください。

※近隣施設（ぎふメディアコスモスなど）の駐車場のご使用はご遠慮ください。

題字／延 哲也 イラスト／マルシェル



主催 ● NHK 厚生文化事業団 NHKエンタープライズ 読売新聞社

後援 ● NHK 岐阜放送局 厚生労働省 岐阜労働局 岐阜県 岐阜市 社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会 社会福祉法人岐阜市社会福祉協議会 一般社団法人岐阜県医師会 公益社団法人岐阜県歯科医師会 一般社団法人岐阜県薬剤師会 公益社団法人岐阜県看護協会 公益社団法人岐阜県理学療法士会 一般社団法人岐阜市医師会 一般社団法人岐阜市薬剤師会 一般社団法人岐阜県病院協会 岐阜県民生委員児童委員協議会 岐阜市民生委員・児童委員協議会 岐阜県がん診療連携拠点病院協議会患者相談専門部会

協賛 ● ツムラ

出演者プロフィール



吉田 和弘 よしだ かずひろ

岐阜大学医学部附属病院 病院長

1984年に広島大学医学部を卒業後、同大学原爆放射線医学研究所(原医研)外科入局。広島大学講師、英国オックスフォード大学・ジョンラドクリフ病院などを経て、2007年より岐阜大学大学院腫瘍制御学講座・腫瘍外科学分野教授に就任。2018年4月より現職。体の負担が少ない低侵襲手術に力を注ぐとともに、進行がんに対しても抗がん剤や放射線治療と組み合わせ根治を目指す治療に取り組んでいる。現在の胃がん治療ガイドライン策定にも尽力。2019年日本癌治療学会学術集會会長・同理事、日本消化器外科学会・理事、日本胃癌学会・理事、日本外科学会指導医ほか。

土川 権三郎 つちかわ けんざぶろう

丹生川診療所 所長、NPO法人ひだまりの会 後見人

名古屋の南生協病院で肝臓病及びアルコール担当として16年間仕事をしてきた。1997年から故郷丹生川村の診療所に移り、全科にわたる総合的な診療をしながら、地域包括ケアの充実、在宅緩和ケアの実践、アルコール依存症などアルコール健康障害への関わりなどに力を注いできた。特に在宅緩和ケアについては、在宅医療を希望される方には満足いくケアを提供したいというのが私の出発点です。

岡本 記代子 おかもと きよこ

がん当事者、ハローワーク岐阜 就職支援ナビゲーター

高山市生まれ。2013年、ハローワーク岐阜に勤務していた40歳の時にステージ4の食道がんが見つかる。抗がん剤治療が奏功し手術でがんを摘出。1年後に再発はしたが、現在も抗がん剤治療を続けている。2016年からはハローワーク岐阜において、長期療養者職業相談窓口を専門に担当する就労支援ナビゲーターとして働きはじめる。自らの治療経験を生かしながら、がんなどに罹患し長期療養が必要な人への就労支援に力を注いでいる。

杉浦 凱久 すぎうら よしひさ

がん当事者、「綿の実」会 共同代表

多治見市出身。働き盛りで子育ての大切な43歳の時に、直腸がん宣告され、がんに負けるものかと完治にこぎ着けたが、6年前に後腹膜脂肪肉腫に罹り、同時期に妻をすい臓がんで亡くした。妻の入院先の緩和ケア病棟で親身に世話をしてくれるボランティアの皆さんとのふれ合いを通じ、心が癒された。何か恩返しをしたいという思いから、がんピアサポーター養成講座を受講。その修了生3名でがんの患者さんが集える「綿の実会」を立ち上げ、現在も活動中。

芝田 陽子 しばた ようこ

岐阜市民病院がん相談・がん就労支援室 がん相談員(看護師)

1988年岐阜市立看護専門学校を卒業。岐阜市に入局し、看護師として岐阜市民病院で社会人としての第一歩を踏み出す。その後、岐阜市保健所に多くの市民の相談に対応し、相談のエキスパートとして市民と医療機関との橋渡しに努めた。再び岐阜市民病院に戻り2016年より現職。治療方法が進歩し「がんとともに生きる」ことが一般的になりつつあるこの時代に、看護師目線と行政目線を併せ持った唯一の相談員として、豊富な経験と知識を駆使し、患者さんの生き方を支えるべく日々まい進している。

森岡 久尚 もりおか ひさよし

岐阜県 健康福祉部長

1999年徳島大学医学部卒業。小児科で研修後、厚生労働省で母子、高齢者、障害者の保健福祉など、行政に従事する医師として住民の健康保持・増進対策に取り組んできた。2016年から岐阜県健康福祉部に勤務し、2017年より現職。県民の健康づくり、食品安全、医療、介護、福祉など幅広い分野を担当している。特に地域で医療と介護・福祉などが連携して必要なサービスが切れ目なく提供できる体制の構築を目指している。

コーディネーター

町永 俊雄

まちなが としお

福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動が続けている。

参加申し込みについて

入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

参加ご希望の方は、はがき(単信)、FAX、メール(ホームページの申し込みフォームから)のいずれかに

1. 名前(必ず個人名を記入) **2. 郵便番号・住所** **3. 電話番号** **4. 参加人数**

5. ご一緒に参加される方の名前(複数名の参加を希望される場合) を書いて、お申し込みください。

お申し込み先

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル

NHK厚生文化事業団「フォーラム がんと生きる 岐阜」係

FAX 03-3476-5956 ※FAX番号はお間違いのないようお願いいたします。

ホームページ <https://www.npwo.or.jp/>

定員になり次第
締め切ります

※当日の入場は『入場整理券(1枚で1人入場可)』が必要です。6月下旬より、順次、希望人数分を封書でお送りいたします。
※郵便番号、住所は正確にご記入ください。誤り及び記入漏れがある場合、入場整理券が届かない場合がありますので、ご注意ください。
※個人情報適切に管理し、本フォーラムの連絡のみに使用いたします。

下記欄にご記入の上、そのままFAXにてお送りいただけます。

フォーラムがん と生きる 岐阜	ふりがな	参加人数	< ご一緒に参加される方の名前 >
	名前 ※必ず個人名をご記入ください。	人	
	住所 〒		
	※勤務先住所の場合は、勤務先名も忘れずにご記入ください。		
	電話番号		

お問い合わせ **NHK厚生文化事業団** TEL 03-5728-6633 (平日 午前10時～午後6時)